



民俗芸能大会

特別出演・川崎沖繩芸能研究会

小田原民俗芸能保存協会 創立50周年記念

令和五年度
後継者育成発表会

小田原市山王原大漁木遣唄保存会

栢山田植歌保存会

早川おほやし会

小田原祭囃子連絡協議会

小田原囃子宮之前保存会

根府川寺山神社鹿島踊保存会

曾我別所寿獅子舞保存会

小田原囃子多古保存会

小田原ちようちん踊保存会

相模人形芝居下中座

令和5年 11月12日

開場11時30分／開演12時(終演 16時予定)

小田原三の丸ホール 大ホール

(小田原市本町 1-7-50)

入場無料

主催 小田原民俗芸能保存協会
 後援 神奈川県民俗芸能保存協会
 神奈川県教育委員会、小田原市教育委員会、小田原市
 小田原市自治会総連合、一般社団法人小田原市観光協会

【出演団体】(出演順)

小田原市山王原大漁木遣唄保存会
 栢山田植歌保存会
 小田原祭囃子連絡協議会
 (小田原囃子宮之前保存会・早川おほやし会)
 根府川寺山神社鹿島踊保存会
 曾我別所寿獅子舞保存会
 川崎沖繩芸能研究会(特別出演)
 小田原囃子多古保存会
 小田原ちようちん踊保存会
 相模人形芝居下中座



芸術文化振興基金助成事業

公益財団法人三菱UFJ信託
 地域文化財団
 助成事業

神奈川文化プログラム



かながわ祭
 県民文化祭

お問い合わせ 小田原民俗芸能保存協会 TEL 0465-44-4573 (林) 小田原市文化財課 TEL 0465-33-1717

小田原民俗芸能保存協会 創立50周年記念 民俗芸能大会 (令和五年度 後継者育成発表会)

出演団体のご紹介

小田原市山王原大漁木遣唄保存会

出演予定時刻
12:10

山王原大漁木遣唄は名称は木遣唄ですが、大工等が唄う木遣唄とは異なり、元は漁師が網を引き揚げる際、呼吸を合わせるために唄っていた労働唄であり、歌詞には「大漁木遣唄」と「神社仏閣数え唄」の二系統があります。

保存会として小田原市東町一丁目～三丁目及び浜町四丁目等で伝承されており、現在は同地域の鎮守である山王神社の祭礼時を中心に市内の祝祭事に披露されています。

栢山田植歌保存会

出演予定時刻
12:30

栢山田植歌は、田植えをする女性達が、疲れた時に田植えの調子を取るために歌ったものです。

歌詞には、農作業の様子や栢山の風景、鶴や亀のめでたい動物が詠みこまれ、豊作の祈りが込められています。

現在、手作業での田植えがほとんどなくなり、田植歌も歌われなくなりましたが、有志により会を結成し、歌い続けています。

小田原祭囃子連絡協議会

(小田原囃子宮之前保存会・早川おはやし会)

出演予定時刻
12:50

宮之前保存会は、本町にある松原神社の氏子町内です。町会名のとおり、神社の門前一带に位置しており、5月の例大祭では毎年山車を運行してお囃子を演奏しています。早川おはやし会は小田原市の西部に位置し、海・山・川に囲まれています。山には石垣山一夜城歴史公園、海には小田原漁港やTOTOCO小田原など、観光スポットとして市民・観光客で賑わう魅力あるエリアであります。

根府川寺山神社鹿島踊保存会

出演予定時刻
13:20

根府川地区の郷土芸能である鹿島踊と福踊を継承し、後継者を育成・指導していくことを目的に活動しています。

神奈川県無形民俗文化財に指定されている鹿島踊は、唄と踊り(三役)が難しいため、定期練習日を設定し基本を確認しながら進めています。具体的な活動としては、毎年7月第3日曜日の寺山神社祭礼時に鹿島踊を奉納し、また、1月に実施する道祖神祭りに福踊を子ども達だけで踊ります。

川崎沖縄芸能研究会 (特別出演)

川崎沖縄芸能研究会は昭和24年に発足しました。昭和27年には「沖縄民俗芸能」が川崎市の無形文化財に指定され、さらに、昭和29年には神奈川県無形文化財に指定されました。他県の文化財に指定されるのは稀な例で、川崎と沖縄の結びつきの強さを表しています。その後、昭和51年に県の無形民俗文化財に

曾我別所寿獅子舞保存会

出演予定時刻
13:40

『鳴物がお囃子をリズムカルに奏でる中、獅子が勇壮に舞い、時にはコミカルな仕草を見せ、笑い面とヒョットコによるユニークな仕草に笑いも誘う』。このような獅子舞が“曾我別所の寿獅子舞”です。私ども保存会は、昭和25年に結成され、今年で73年を迎えます。今回は、50周年記念民俗芸能大会にふさわしく、昨年新たに結成された7組が、後継者育成発表会の初舞台に立ちます。

小田原囃子多古保存会

出演予定時刻
14:40

小田原囃子の源流は江戸葛西囃子、江戸時代中期に寺町にあった「桐座」で芸人が演奏した葛西囃子を地元の青年衆が習ったものと言われています。曲目は「屋台」「昇殿」「神田丸」「鎌倉」「仕丁目」の5曲があり、基本は祭り本来の明るく勢いのある曲調ですが、哀愁ただよう情緒やどこか懐かしさを感じさせる風情のある旋律となっています。

昭和51年には神奈川県無形民俗文化財に指定されています。

小田原ちょうちん踊保存会

出演予定時刻
15:00

お猿のかごやで馴染みの「小田原ちょうちん」。このちょうちんを後世に残したいとの思いから、ちょうちんを持って踊ることを考案し、現在に至っています。

この形状のちょうちんは、どこで作成しても、小田原ちょうちんと言われ、小田原の宝物と感じて、踊り続けています。

相模人形芝居下中座

出演予定時刻
15:20

下中座は江戸時代より小田原市小竹地区に伝わる三人遣いの人形座です。明治末から昭和初期にかけて東京の人形遣い夫婦が小竹に定住し、東京の人形操法を伝えました。そのため東京の人形浄瑠璃の面影を伝えるとして高い評価を受け、昭和28年に県無形文化財に指定され、当時の村名から下中座と命名されました。昭和55年には国の重要無形民俗文化財に指定され、今も活発な活動を続けています。

出演予定時刻
14:10

再指定されており、本会はその保存団体として活動してきました。川崎市を中心に関東近郊で活動する会員によって構成され、琉球古典音楽、琉球舞踊、八重山舞踊、沖縄民謡、八重山古典民謡、笛、太鼓、胡弓の団体が所属しています。会員数は、現在約400人です。